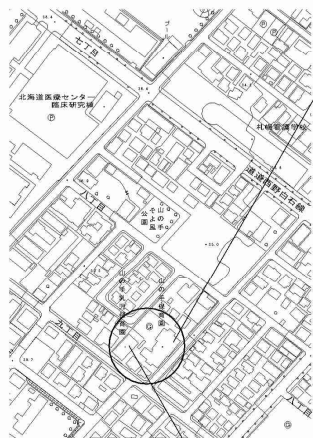
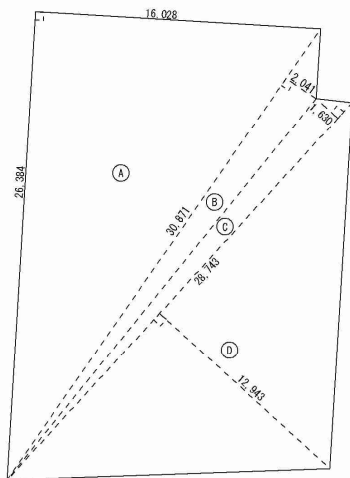




山の手保育園
札幌市西区山の手4条8丁目4、5-1

山の手乳児保育園
札幌市西区山の手4条8丁目5-2

附近見取図 S=1/2,500

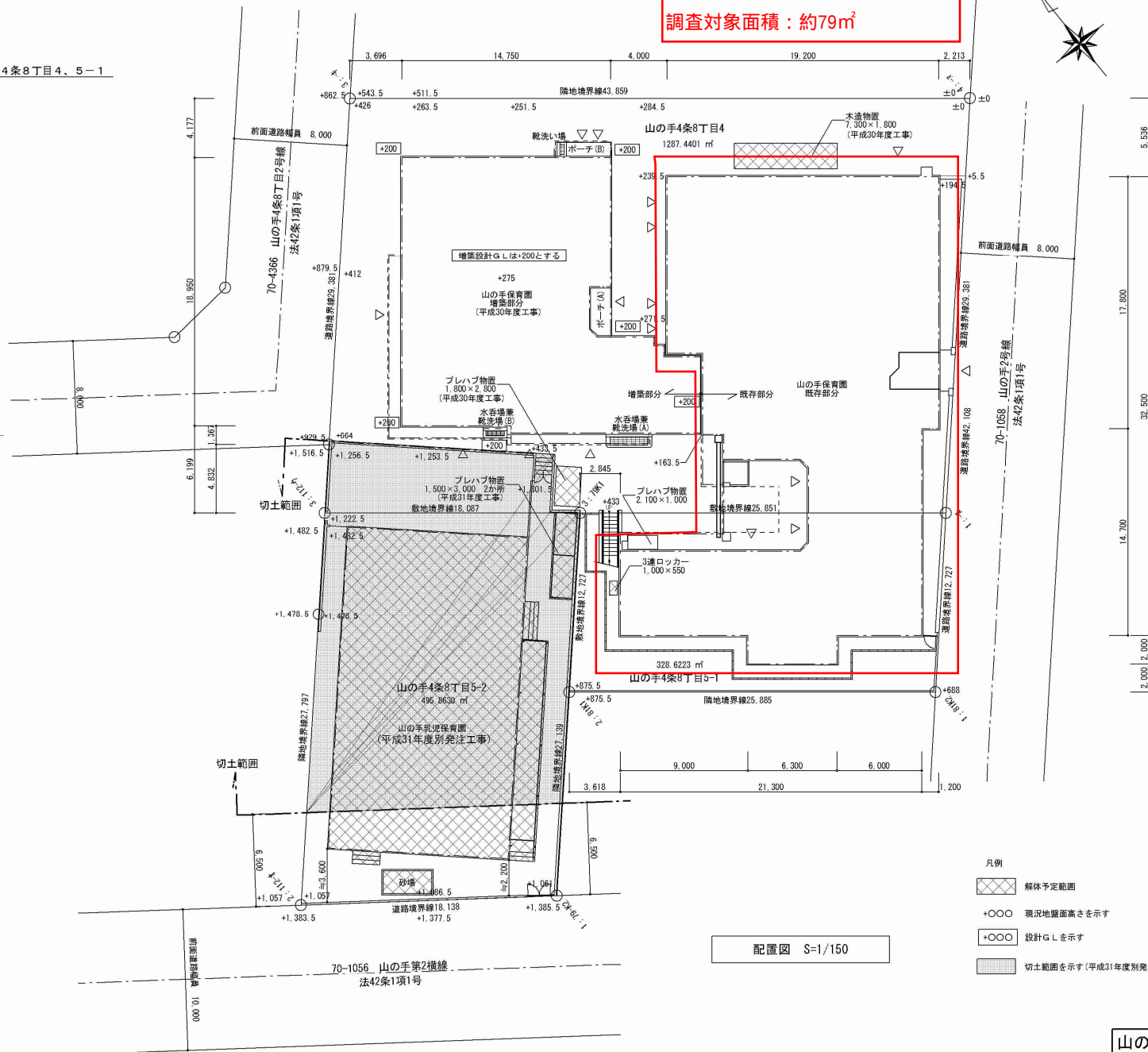


切土面積求積図		
符号	計算式	面積(m ²)
A	26.384 × 16.028 × 1/2	211.441376
B	30.871 × 2.041 × 1/2	31.503856
C	28.743 × 1.630 × 1/2	23.425545
D	28.743 × 12.943 × 1/2	186.010225
計		452.381102
		452.381 m ²

切土面積求積図 S=1/150

調査対象部分：赤枠内タイル面

調査対象面積：約79m²



配置図 S=1/150

凡例

解体予定範囲

+○○○ 現況地盤面高さを示す

+○○○ 設計G.L.を示す

切土範囲を示す(平成31年度別発注工事)

山の手保育園

DATE 2019.3

1 総建築士事務所登録 (E) 第1199号

株式会社 越山建築設計事務所

管理建築士 1 級建築士登録第227846号 越山 仁志

R.

D. C.

D.

TITLE

山の手保育園増築工事

配置図・附近見取図

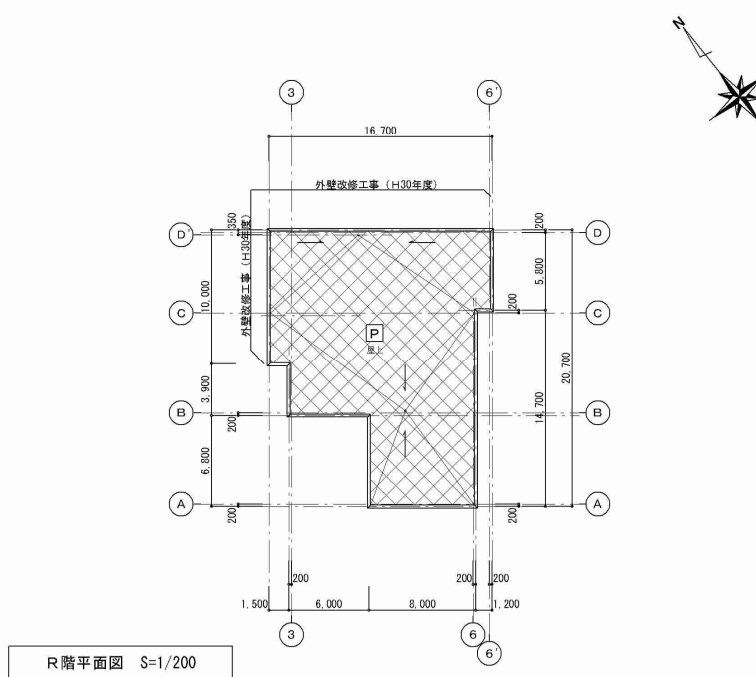
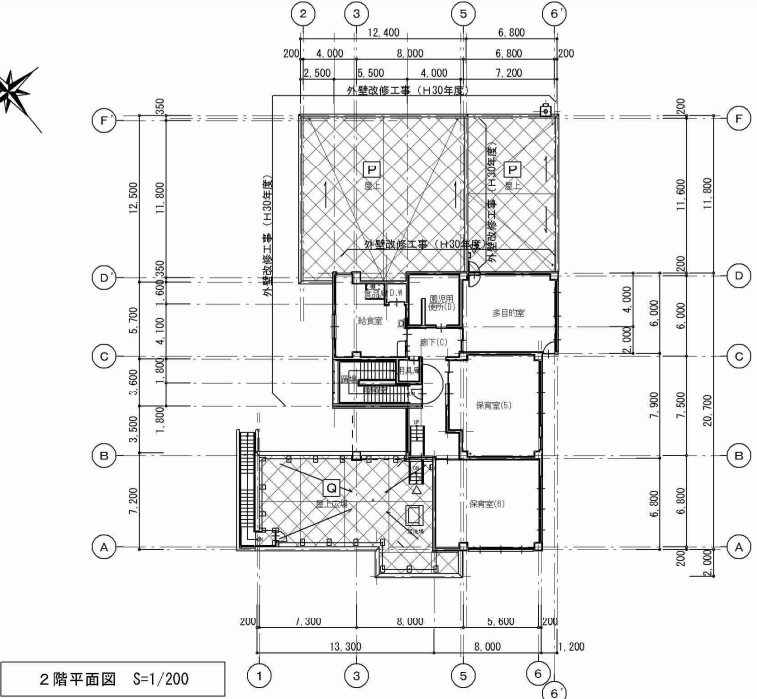
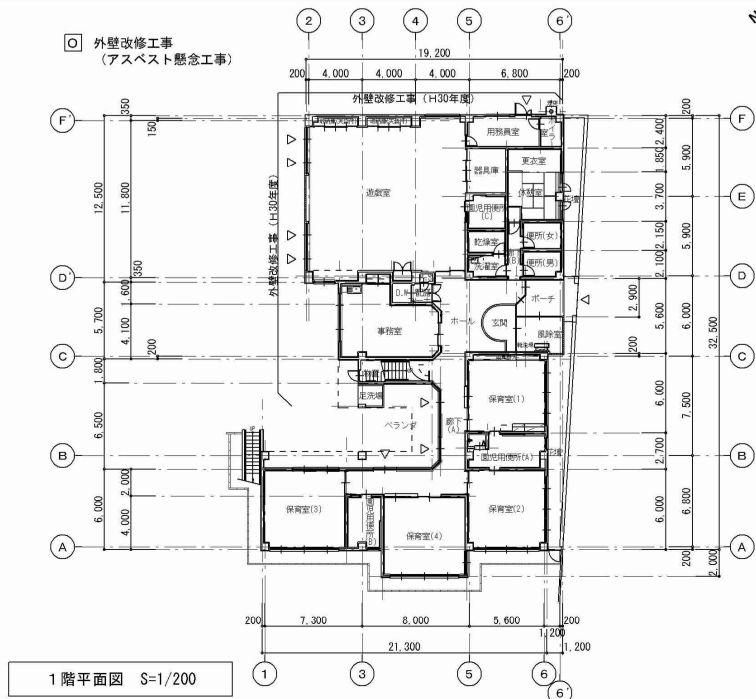
SCALE

A1:1/150

A3:1/200

DRAWING NO.

A-10



外部改修工事工事概要
参考工期：2018年6月中旬～2018年9月末
但し、屋上広場の防水改修工事は2018年9月から

- 外壁改修工事（アスベスト懸念工事）
- ・塗膜除去（剥離剥離工法：環境配慮型） ひび割れ・欠損等補修後、
下地調整の上、防水形複層塗材E 新設
 - ・但し、北面C通一D'間、西面2通+2,300の増築部分接続部は除く

- 屋上
- ・防水改修工事：（撤去）
コンクリート金コテ 既存のまま、アスファルト防水層既存のまま、
F P板 t=30 撤去、絶縁シート 撤去、砂利敷 t=30 撤去
 - （新設）
既存アスファルト防水、下地調整の上、
硬質ウレタンフォーム t=30 新設、
改質アスファルトシート防水（トーチ工法）新設

- ◇ 屋上広場
- ・防水改修工事：（撤去）
コンクリート金コテ 既存のまま、
アスファルト防水層 撤去、F P板 t=30 撤去、
押入コンクリート t=80 金コテ仕上（伸縮目地 W=25）撤去
 - （新設）
既存コンクリート金コテの上、塗膜防水 新設、
硬質ウレタンフォーム t=30 新設、
軽歩行用パネル 新設、防滑性ビニル床シート 新設
 - ウレタン塗膜防水メッシュ 新設
全面密着改質アスファルトシート新設
 - ・フェンス 既存まま
 - ・足洗場 床 均しモルタル撤去の上、ゴムチップタイル t=15 新設
下地モルタル共
壁 磁器質タイル100角 撤去・新設 下地モルタル共

- 凡例
- △ 出入口を示す
 - ◇ 改修対象範囲を示す

- 施工条件
- ・当該工事は施設の利用を継続させながら行う。
ただし、工事対象部分については、工事施工前に備品等の移動を終了させ、
工事中は工事対象部分への立ち入りを禁止とすること。
（備品移動は施設側にて対応とすること。）
 - ・給食を止めないこと。
 - ・当該工事は原則、工事概要に記載の、参考工期の通りに行うこと。
これを大幅に変更する場合は工事監督員、施設管理者と協議を行い
承諾を得た上で行うこと。
 - ・工事の調査、施工に当たっては、事前に施設管理者と協議を行うこと。
（事前に、工程表・緊急連絡体制等を提出し、承諾を得ること。）
 - ・施設の利用上、支障がある範囲については、あらかじめ工事監督員
施設管理者と協議を行い、指示に従うこと。
 - ・当該工事は原則、工事作業員動線と、施設管理者ならびに、施設利用者動線を
重複させないよう、「仮設間仕切りにて区分けを行う」「工事時間を
園内活動時間とずらす」等の対応を行い、十分考慮すること。
 - ・騒音工事を行う際は、工事時間について工事監督員、施設管理者と協議を行い、
承諾を得た上で行うこと。
 - ・アスベスト撤去工事については、別図「仮設計画図（参考）」による。
 - ・仮設計画図での特記事項については、別図「仮設計画図（参考）」による。

外部仕上表											
屋上	改修前	改置アスファルトシート防水	B	外壁	改修前	コンクリート打放しの上、リシン吹付 塗膜除去（下地調整剤 非飛散性アスベスト含有）	G	ベランダ	改修前	コンクリート金コテの上、ウレタン塗床（ノンスリップ仕上） 段島 ノンスリップタイル 既存のまま	
	改修後	既存のまま		改修後	ひび割れ・欠損等補修後、下地調整の上、防水形複層塗材 E 新設	改修後		既存塗床下地調整の上、弾性ウレタン塗床（防滑仕上t=2.0） 新設			
屋上広場	改修前	ウレタン塗膜防水 複合工法（歩行用） フェンス塗装 300×500×1200、ウレタン塗膜防水、複合工法	C	外壁	改修前	磁器質タイル50角 一部撤去 モルタル下地共	N	屋外階段	改修前	腰壁：コンクリート打放しの上、リシン吹付 塗膜除去 （下地調整剤 非飛散性アスベスト含有）	
	改修後	既存のまま		改修後	磁器質タイル50角 一部新設 モルタル下地共	改修後		腰壁：一部コンクリート打ち ひび割れ・欠損等補修後、下地調整の上、防水形複層塗材 E 新設			
A	笠木	改修前	アルミ既製品（W=225、300）一時撤去	D	外壁	改修前	コンクリート打放しの上、浸透性塗布防水、リシン吹付 塗膜除去 （下地調整剤 非飛散性アスベスト含有）	O	屋外階段	改修前	踏面・蹴込：モルタル下地の上、ウレタン塗床（ノンスリップ仕上）
	改修後	再取付	改修後		ひび割れ・欠損等補修後、下地調整の上、浸透性塗布防水、防水形複層塗材 E 新設	改修後	踏面・蹴込：既存塗床下地調整の上、弾性ウレタン塗床（防滑仕上t=2.0） 新設				
J	タラップ	改修前	アルミ製 L=3,300 一時撤去	L	ガラスブロック スクリーン	改修前	ガラスブロック 145×145×95	門柱	改修前	コンクリート打放しの上、A E塗装塗り 一部モルタル下地の上、磁器質タイル50角 既存のまま	
	改修後	再取付	改修後		既存のまま	改修後	コンクリート打放しの上、A E塗装塗り 一部モルタル下地の上、磁器質タイル50角 既存のまま				
I	屋上広場フェンス	改修前	スチールメッシュフェンスH=2,000 亜鉛メッキの上、静電粉体塗装	F	ポーチ	改修前	床：モルタル下地の上、磁器質タイル100角 撤去 天井：※化粧石綿セメント板 t=6 撤去	その他	外部建具廻り シーリング 10×7 撤去・新設		
	改修後	既存のまま	改修後		床：磁器質タイル100角 新設、モルタル下地共 天井：着色スレート板t=6 新設	外部フード廻り シーリング 10×7 撤去・新設					
M	手摺	改修前	スチール、静電焼付塗装 H=1,100	K	足洗場	改修前	床・壁：磁器質タイル100角 モルタル下地		外壁タイル張り伸縮目地 シーリング 10×7 撤去・新設		
	改修後	下地調整の上、D P塗装 新設	改修後		床・壁：既存のまま						
H	手摺	改修前	スチール鋼管φ42.7 OP、受金物 FB-6×38 OP、支柱鋼管φ34 OP	E	布廻り	改修前	コンクリート打放しの上、浸透性塗布防水剤塗り 既存のまま				
	改修後	下地調整の上、D P塗装 新設	改修後		下地調整の上、浸透性塗布防水 新設						
				軒天	改修前	※化粧石綿セメント板 t=6 撤去					
			改修後		着色スレート板 t=6 新設						

※印はアスベスト含有建材を示す。

鉄筋及びコンクリート工事

コンクリートの種類は、普通コンクリートとし、種別はⅠ類とする。
コンクリートの強度は、設計基準強度 21N/mm² スラップ15cmとする。（捨てコンクリートを除く）
コンクリートの材料は普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種とする。
構造体強度補正値 3N/mm² (4/11～10/10)
6N/mm² (10/11～4/10)
捨てコンクリートの強度は、設計基準強度 18N/mm² スラップ15cmとし、粗骨材の最大寸法は25mm以下とする。
型枠は、合板 B-C種 t=12mmとする。
鉄筋は、SD295 Aとする。
コンクリート打込み後の養生期間中に、コンクリートが凍結する恐れのある場合は保暖養生を行うこと。
その他の事項については、下記を基準とする。
公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版〔平成28年6月改定〕）】



外壁調査図 - 南面 S=1/60

H30年度		
南面		
凡例		
記号	種類	仕様・寸法
— —	亀裂	幅0.2mm未満
— — — —		幅0.2mm以上1.0mm未満
— — — — — —		幅1.0mm以上
— — — — — —	欠損	100×100
— — — — — —		100×200
— — — — — —		100×500
— — — — — —		100×1,000
— — — — — —	鉄筋露出	W100
— — — — — —		100×100
— — — — — —		100×200
— — — — — —		100×500
— — — — — —	タイル浮き	50×50
— — — — — —		50×50
— — — — — —		50×50
— — — — — —		50×50
— — — — — —	ガラスブロック	100×100
— — — — — —		100×100
— — — — — —		100×100
— — — — — —		100×100

数量集計表			H30年度	H30年度	H30年度	H30年度	H30年度
記号	種類	仕様・寸法	改修工法	南面	C通り西面	2通り北面	F通り東面
— —	亀裂	幅0.2mm未満	シール工法	1.2 m	4.1 m	11.0 m	24.6 m
— — — —		幅0.2mm以上1.0mm未満	樹脂注入工法	0.0 m	1.2 m	1.3 m	2.5 m
— — — — — —		幅1.0mm以上	エポキシ樹脂 ダイレクトシール工法（同等品）	0.0 m	0.0 m	0.0 m	0.0 m
a	欠損	100×100	充填工法	0 ヶ所	0 ヶ所	2 ヶ所	1 ヶ所
b		100×200	充填工法	0 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所
c		100×500	充填工法	0 ヶ所	0 ヶ所	2 ヶ所	0 ヶ所
d		100×1,000	充填工法	0 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所
— — — —	鉄筋露出	W100	充填工法	0.0 m	0.0 m	0.0 m	2.4 m
A		100×100	充填工法（露出鉄筋等の防錆処理を行うこと）	0 ヶ所	0 ヶ所	4 ヶ所	4 ヶ所
B		100×200	充填工法（露出鉄筋等の防錆処理を行うこと）	0 ヶ所	2 ヶ所	3 ヶ所	0 ヶ所
C		100×500	充填工法（露出鉄筋等の防錆処理を行うこと）	0 ヶ所	0 ヶ所	1 ヶ所	0 ヶ所
D	タイル浮き	100×1,000	充填工法（露出鉄筋等の防錆処理を行うこと）	0 ヶ所	0 ヶ所	1 ヶ所	0 ヶ所
— — — —		50×50	撤去工法（既存撤去、新設）	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚
— — — —		50×50	撤去工法（既存撤去、新設）	0 枚	0 枚	29 枚	0 枚
— — — —		50×50	撤去工法（既存撤去、新設）	0 枚	0 枚	29 枚	0 枚
— — — —	ガラスブロック	100×100	撤去工法（既存撤去、新設）	19 ヶ所	3 ヶ所	13 ヶ所	0 ヶ所
— — — —		100×100	撤去工法（既存撤去、新設）	2 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所	0 ヶ所
— — — —		100×100	撤去工法（既存撤去、新設）	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚
— — — —		100×100	撤去工法（既存撤去、新設）	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚

平成30年度工事 山の手保育園

DATE 2019-3-11

1級建築士事務所登録（E）第1199号

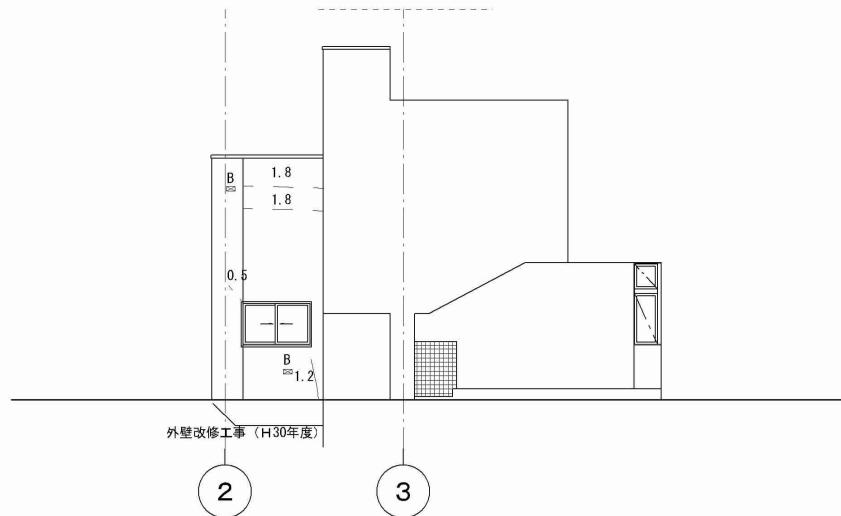
株式会社 越山建築設計事務所
管理建築士 1級建築士登録第27846号 越山 仁志

R. D. C. D.

TITLE 山の手保育園増築工事
外壁調査図 - 南面
DRAWING NO. A-122
SCALE A1=1/60 A2=1/100



外壁調査図 A 通り西面 S=1/60



外壁調査図 C 通り西面 S=1/60

凡例		H30年度	
		C通り西面	
記号	種類	仕様・寸法	数量
— —	亀裂	幅0.2mm未満	4.1 m
— — —		幅0.2mm以上1.0mm未満	1.2 m
— — — —		幅1.0mm以上	0.0 m
 a	欠損	100×100	0 ヶ所
 b		100×200	0 ヶ所
 c		100×500	0 ヶ所
 d		100×1,000	0 ヶ所
	鉄筋露出	#100	0.0 m
 A		100×100	0 ヶ所
 B		100×200	2 ヶ所
 C		100×500	0 ヶ所
 D		100×1,000	0 ヶ所
	タイル浮き	50×50	0 枚
— — — —	タイル割れ	50×50	0 枚
	ガラスブロック割れ		3 ヶ所

平成30年度工事 山の手保育園

DATE 2019-3-
1 越山建築士事務所金沢（C）第1199号

越山建築士事務所金沢（C）第1199号

株式会社 越山建築設計事務所
管理建築士 1 級建築士登録第297846号 越山 仁志

R. D. C. D.

TITLE 山の手保育園増築改修工事
外壁調査図 西面
SCALE A1=1/80 A3=1/120

DRAWING NO. A=123